

Ⅲ. 授業中の話し方について

《ステップ1》基礎編

- ①わたしは、～～だと思ひます。ぼくも、～～だと思ひます。
A. 同じで・・・
B. 似ていて・・・ 当てるのは、皆さんです。ABCの順番です。
C. 違って・・・
- ②ぼくは、～～だと思ひますが、〇〇さんは、どう思ひますか？
- ③わたしは、〇〇さんと～～まで同じ考えですが、～～のところから考えがちがいます。
- ④〇〇君にたずねますが、どうして～～～なのですか？
- ⑤〇〇さんの考えを聞かせてください。
- ⑥〇〇さんの考えの～～のところは、とても良いと思ひます。
- ⑦いま、考えているところです。あとで発表させてください。
- ⑧ぼくは、考えがうかばないのですが、
〇〇さん、何かよい考えがうかばないのですか？
- ⑨～～のところかわからないので、先生説明をおねがいします。

※名前を呼ばれたら、しっかり返事をする。これが一番の基本です。

《ステップ2》応用編（賛成・反対・修正）

- ①ぼくは、〇〇さんに（賛成・反対）です。
☆そのわけは、～～だからです。
- ②私は、〇〇さんの～～のところ少しちがいます。
A. そのわけは、～～だからです。
B. つけ加えます。それは、～～です。

◎説明・発表・質問のときの用語及び留意点（気を付けること）

- ①発表は、けつろんが先。
☆～～だと思ひますが先。～～だからあと。
- ②理由ははっきりと。
☆そのわけは、～～です。

③内容は、整理して。

☆ひとつは、～～で、もうひとつは、～～です。

④長い話しは、先に題を。

☆わたしは、～～について発表します。

⑤質問するとき

☆どうしてそうなるのか教えてください。

☆〇〇さんの意見は、～～でいいですか？

※ 以上の話し方は、あくまでも参考とする基本の形です。内容があつていれば自分の言葉を使って下さい。また、これらは大人になってからも十分に使える内容です。身に付けることが、生きる力につながります。

IV. 司会係の心得

ア. 友だちに対して

①『〇〇さんは、こういう意見ですが、他に何かありませんか？』

とみんなの意見を多く聞くようにしましょう。

②学習のめあて、方法、そしてポイントなどがわからなくなったら

『先生、お願いします。』と呼びましょう。

しかし、ただ呼んだだけでは先生は何をアドバイスしてよいのかわかりません。そこで、“なぜ呼んだのか”をしっかりと説明しましょう。

③自分の言葉で進行しよう。

↑ 同じ内容なら言葉は関係ないです。